鳥取市
SQのあるまち

資料提供	
令和７年１月３１日	
担当課 (担当)	交通政策課 宮谷・森本
電　話	30-8326（内線 7621）

自動運転率９割以上を達成！
自動運転バス実証運行の結果（速報）について

令和６年１２月に実施した自動運転バス実証運行について、自動運転率が算出されましたので、試乗体験の結果等と併せてお知らせします。（**最終的な事業報告書は３月下旬に公表予定**です。）

１　技術面の検証結果について

●**自動運転率※　95.3%　（前回 80.2%）**

※試乗コースにおいて走行した総距離のうち、運転手が手動介入せずに自動運転で走行できた距離の割合

≪自動運転率向上の主な理由≫

①左回りルートに変更したため
②自動運転システムを改良したため（路上駐車回避機能の追加）
③信号機と連携し事前に信号情報を得て走行したため

≪手動介入した主な理由≫

①交差点の右折時、交差点に取り残された際の出発
②追加した路上駐車回避機能でも対応しきれない大型車両等の回避
③自動運転バス（中央線）に近づいた対向車の回避
④バス停車位置に駐車されていた一般車両の回避

・その他課題
降雪時の対応（12 月 22 日は雪の影響を受けて終日運休）

２　試乗体験の結果について

①運行期間　10 日間　≪前回≫11 日間
【12/12～24（16,17,22 日運休）】
②運行便数　58 便　≪前回≫80 便
③**試乗者数　519 人（8.9 人/便）**　≪前回≫701 人（8.8 人/便）

≪前回より運行便数が減少した理由≫
平日の午前は、「路車協調システム実証実験」として一般試乗しなかったため
※路車協調システム実証実験は、国土交通省鳥取河川国道事務所が事業主体となり実施

３　今後の取組みについて

委託事業者（WILLER 株式会社）から提出される事業報告書の結果をふまえ、鳥取市次世代モビリティ推進会議において、今後の取組み方針を協議します。
引き続き、国の動向（※政府目標）をふまえつつ、バス事業者をはじめとする関係者と生活交通の維持に向けた検討を進めていきます。

※政府方針…令和７年を目途に自動運転レベル４（特定条件下で完全自動運転）移動サービスを全国 50 か所に拡大